



# 空軍を中心とする國防の充實

國防の充實

著名なるバタイン元帥は決戦的空襲は戦端が開かると同時に飛行するものであつて恐らく宣戦の布告であるうであらう、彼は其の著「空の脅威」に記して曰く「度宣戦布告せらる、や空軍は重要な産業都市を襲ふ事であらう、これが最初の瞬間により猛烈なる行動を取ることで蓋し空中の



## 如何行はる、来るべき戦争は

(三)

、

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。



## 奥様訪問

(三)

名士の奥様訪問も母國と  
違つて記者の様に不審内な  
者ほどらに向つて好いか  
サッパリ判らない一番近  
いところをと佐藤博士の御  
宅へ二時半頃同ふ、直ぐ判  
つたが幾らベルを押しても  
何の音沙汰もない、約十分  
ノックしたりベル押しながら  
通りがりの外人の子供  
がアシキノンエスターとい  
つてくれるお向へのキン  
タールの中でモツカ二人が  
じつとこちらを眺めてゐる  
こんな度は少し強くなつ  
して見たとお二階からお  
ントントンと誰れかいらつ  
した様だ、一度ノックす  
るバツと明けられてバツ  
とサボンエスコーバ等を  
持つた女中さんが最もう少し  
でボツ突かるところだつた  
お様はとお駆ねしたひら  
ごく周章で、「ハイ奥様は  
只今お留守でござります、  
どなたさんですか?」私こう  
言ふ者ですと名前を差し  
出したら直ぐ横手の應つ  
室へ案内された、多分書生  
北詔の女中さんとが廊下で  
さんらしい十六七の方と東  
小原評定を始められて電  
話で奥様の行先を尋ねるも  
てゐる。先方の御手を尋ねるも  
シビレと調べた所六番地何  
來なかつて淀川夫人を最  
一御訪ね仕様ボンデを  
乗り捨て、並木街の涼しさ  
奥様は風邪が元で心臓を恐  
くしてゐらつしやる由お  
大切になさいます機にと申  
上げて出た。  
ふがこれ丈歩いても何にも  
ありつけない只淀川氏邸  
のあ立園と佐藤博士邸の盛  
森羅万象相手の仕事である

花にお目通りしただけが開

の山だった。

△

奥様ナンセンス

一粒のダイヤ

花の開拓を志すトモガラは、

かの奥様も折角のダイヤ

の手前可成り立つ場所に、

のし縁は一齊に集まる確

かにある、ダイヤの小船が

悠々お入りになつた皆様

の奥様が、返り身になつて

奥様の指に、微笑しそうな皆

がアシキノンエスターとい

つてくれるお向へのキン

タールの中でモツカ二人が

じつとこちらを眺めてゐる

こんな度は少し強くなつ

て見て見たとお二階からお

ントントンと誰れかいらつ

した様だ、一度ノックす

るバツと明けられてバツ

とサボンエスコーバ等を

持つた女中さんが最もう少し

でボツ突かるところだつた

お様はとお駆ねしたひら

ごく周章で、「ハイ奥様は

只今お留守でござります、

どなたさんですか?」私こう

言ふ者ですと名前を差し

出したら直ぐ横手の應つ

室へ案内された、多分書生

北詔の女中さんとが廊下で

さんらしい十六七の方と東

小原評定を始められて電

話で奥様の行先を尋ねるも

てゐる。先方の御手を尋ねるも

シビレと調べた所六番地何

來なかつて淀川夫人を最

一御訪ね仕様ボンデを

乗り捨て、並木街の涼しさ

奥様は風邪が元で心臓を恐

くしてゐらつしやる由お

大切になさいます機にと申

上げて出た。

ふがこれ丈歩いても何にも

ありつけない只淀川氏邸

のあ立園と佐藤博士邸の盛

森羅万象相手の仕事である

自然の風物、景觀が變遷す

る國は少ない。殊に亞熱帶

の新古を論ずるさへ余計な

誰方がダイヤを求める

かと顧の目撃の目そこへ一

人の奥様が返り身になつて

奥様の指に、微笑しそうな皆

がアシキノンエスターとい

つてくれるお向へのキン

タールの中でモツカ二人が

じつとこちらを眺めてゐる

こんな度は少し強くなつ

て見て見たとお二階からお

ントントンと誰れかいらつ

した様だ、一度ノックす

るバツと明けられてバツ

とサボンエスコーバ等を

持つた女中さんが最もう少し

でボツ突かるところだつた

お様はとお駆ねしたひら

ごく周章で、「ハイ奥様は

只今お留守でござります、

どなたさんですか?」私こう

言ふ者ですと名前を差し

出したら直ぐ横手の應つ

室へ案内された、多分書生

北詔の女中さんとが廊下で

さんらしい十六七の方と東

小原評定を始められて電

話で奥様の行先を尋ねるも

てゐる。先方の御手を尋ねるも

シビレと調べた所六番地何

來なかつて淀川夫人を最

一御訪ね仕様ボンデを

乗り捨て、並木街の涼しさ

奥様は風邪が元で心臓を恐

くしてゐらつしやる由お

大切になさいます機にと申

上げて出た。

ふがこれ丈歩いても何にも

ありつけない只淀川氏邸

のあ立園と佐藤博士邸の盛

森羅万象相手の仕事である

自然の風物、景觀が變遷す

る國は少ない。殊に亞熱帶

の新古を論ずるさへ余計な

誰方がダイヤを求める

かと顧の目撃の目そこへ一

人の奥様が返り身になつて

奥様の指に、微笑しそうな皆

がアシキノンエスターとい

つてくれるお向へのキン

タールの中でモツカ二人が

じつとこちらを眺めてゐる

こんな度は少し強くなつ

て見て見たとお二階からお

ントントンと誰れかいらつ

した様だ、一度ノックす

るバツと明けられてバツ

とサボンエスコーバ等を

持つた女中さんが最もう少し

でボツ突かるところだつた

お様はとお駆ねしたひら

ごく周章で、「ハイ奥様は

只今お留守でござります、

どなたさんですか?」私こう

言ふ者ですと名前を差し

出したら直ぐ横手の應つ

室へ案内された、多分書生

北詔の女中さんとが廊下で

さんらしい十六七の方と東

小原評定を始められて電

話で奥様の行先を尋ねるも

てゐる。先方の御手を尋ねるも

シビレと調べた所六番地何

來なかつて淀川夫人を最

一御訪ね仕様ボンデを

乗り捨て、並木街の涼しさ

奥様は風邪が元で心臓を恐

くしてゐらつしやる由お

大切になさいます機にと申

上げて出た。

ふがこれ丈歩いても何にも

ありつけない只淀川氏邸

のあ立園と佐藤博士邸の盛

森羅万象相手の仕事である

自然の風物、景觀が變遷す

る國は少ない。殊に亞熱帶

の新古を論ずるさへ余計な

誰方がダイヤを求める

かと顧の目撃の目そこへ一

人の奥様が返り身になつて

奥様の指に、微笑しそうな皆

がアシキノンエスターとい

つてくれるお向へのキン

タールの中でモツカ二人が

じつとこちらを眺めてゐる

こんな度は少し強くなつ

て見て見たとお二階からお

ントントンと誰れかいらつ

した様だ、一度ノックす

るバツと明けられてバツ

とサボンエスコーバ等を

持つた女中さんが最もう少し

でボツ突かるところだつた

お様はとお駆ねしたひら

ごく周章で、「ハイ奥様は